

砂川市地域公共交通実証調査運行実施計画（案）

1. 運行形態

■ 市内全域を予約型乗合タクシー

平成 25 年度の実証調査運行は、コミュニティバスと予約型乗合タクシーによる運行を実施したが、コミュニティバスについては、「利用のしやすさ」はあるものの、コスト負担が大きく持続性は低い。また、利用するには停留所までの移動が必要となるが、高齢化の進行により停留所まで行くにも困難となる高齢者が出てくることが予想される。

乗合タクシーは、自宅前で乗降が可能であるため、高齢者にとっては容易に外出が可能となることから利便性が高く、予約によって運行するため効率的な運行が可能であることから、今後の高齢化の進行及び持続可能な公共交通を考えた場合は乗合タクシーが最適と考えられる。しかしながら、実証調査運行での利用者は少数で導入判断に至るデータが不十分であったことから、予約型乗合タクシーによる、実証調査運行を実施して利用状況等を検証する。

■平成 25 年度の実証調査運行結果

	利用者数	1 便当たり 利用者	1 人当たり 運行コスト	1 便当たり 運行コスト
コミュニティバス	691 人	0.82 人	5,715 円	4,679 円
乗合タクシー (セダン型)	53 人	1.06 人	1,002 円	1,140 円

2. 実施期間

昨年度の実証調査運行では、運行期間が 9 月・2 月のそれぞれ 1 ヶ月と短く、事業が浸透していない状況がうかがえたため、本年度は秋期から冬期にかけて連続した 4 カ月間で運行し、事業の浸透を図ったなかで利用状況等を検証する。

運行期間：平成 26 年 10 月 1 日（水）～平成 27 年 1 月 31 日（金）

3. 運行エリア

- ・運行時間が長時間にならないよう市内を 4 つのエリアに分け、エリア内からまちなかまでの運行を基本とする。
- ・ルートを決めず、運行エリア内を利用者の予約に応じて乗り合いにより運行する。基本的に自宅前で乗降し目的地となるまちなかでは共通の乗降場所を設けて、運行の効率化を図る。

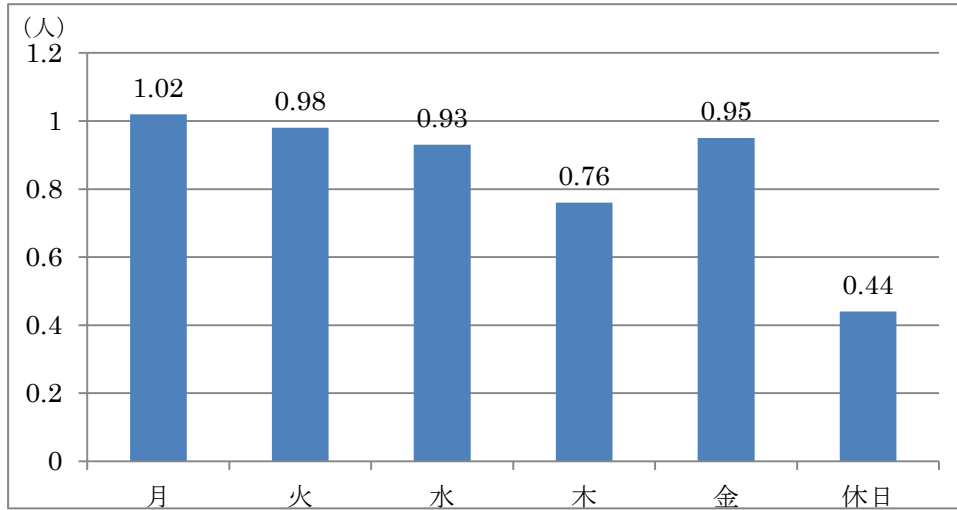
南エリア①	宮城の沢地区・鶉地区・吉野地区・日の出北部地区
南エリア②	東豊沼地区・日の出南部地区・豊栄地区・西豊沼地区・宮川地区
北エリア①	一の沢地区・北光地区・焼山地区・晴見地区・三砂地区
北エリア②	富平地区・空知太地区・袋地地区

4. 運行日

実証調査運行結果による利用状況では、曜日別1便当たりの利用者でみると休日が平日に比べ約半数以下と低い利用となっている。

しかしながら、休日を含め幅広く住民ニーズを検証するため**毎日運行**とする。

■実証調査運行結果：曜日別1便当たり利用者（コミュニティバス・乗合タクシー利用者）



5. 運行便数

需要に応じたサービスを確保するため、1時間に1本程度の便数を予定する。

行きの便：午前4便・午後2便

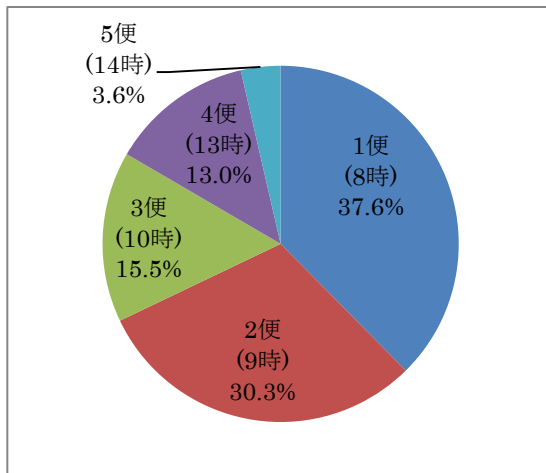
帰りの便：午前2便・午後4便 往復6便

6. 運行時間帯

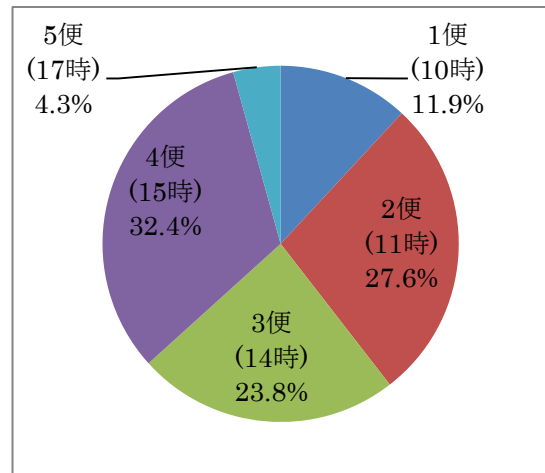
買物、通院や公共施設の利用に対応することを基本としつつ、実証調査運行結果の便別利用状況を考慮し、**午前8時から午後4時の間**で発時刻を設定する。

■2月実証調査運行結果：便別利用者割合（平日）

【行きの便】



【帰りの便】



7. 目的地（まちなか乗降地）

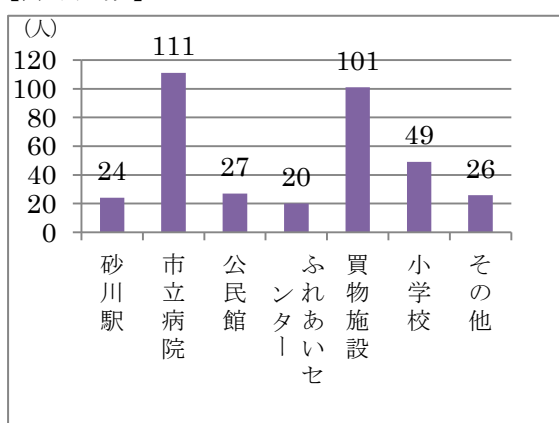
市民の外出活動を考慮して、まちなかのJR駅、買物施設、病院、公共施設を設定し運行の効率化を図る。

また、国道沿いの高速バス停留所を目的地として設定し、バス路線への乗り継ぎの充実及び利便性の向上を図る。

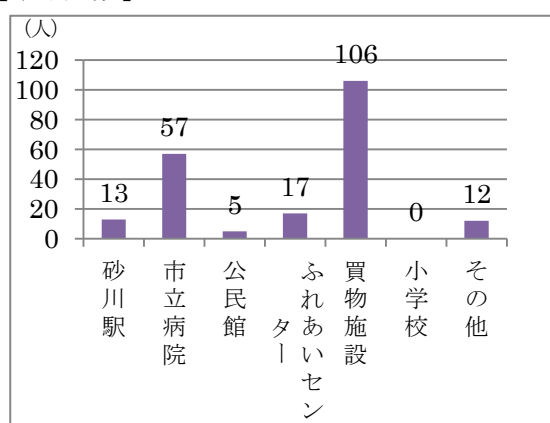
目的地 (まちなか乗降地)	①砂川駅 ②市立病院 ③公民館 ④ふれあいセンター ⑤ショッピングプラザ AiAi ⑥スーパーふじ ⑦市民生協 ⑧中央バス停留所（宮川町・砂川市立病院・障害者能力開発校・空知工場前）
------------------	---

■ 2月実証調査運行結果：目的地別乗降状況

【降車人数】



【乗車人数】



8. 運賃

昨年度の実証調査運行では1回乗車500円で実施したが、利用者に対して行ったアンケート調査では、乗合タクシーの運賃は「安い」、「ちょうど良い」が多数を占めている。

しかしながら利用者数は少なく、その要因の一つとして地域説明会の意見でもあった「運賃が高い」ことが考えられることから、利用しやすい運賃を設定し利用状況を検証する。

なお、乗車距離に関係なく均一運賃とする。

- 乗車1回につき：大人 300円
- 中学生以下 100円
- 小学生未満無料（保護者同伴が必要）

9. 運行車両

自宅前での乗降を基本としているので、狭い道路でも走行できる、ジャンボ型車両又はセダン型車両が想定されるが、昨年度の実証調査運行では1便当たりの乗車人数は1.08人であったこと、また、タクシー事業者が所有する既存車両の活用が可能であることからセダン型車両とする。

なお、定員は3人として定員以上の予約があった場合は、増車して対応する。

10. 予約方法

予約の際の簡素化を図るため事前登録制として行う。また、予約受付時間や受付期限については、事業者との協議により、可能な限り利便性のある方法を設定する。

事前登録受付 → 砂川市

利用予約受付 → 運行事業者

11. 利用促進策

実証調査運行の実施にあたり、市民周知及び利用促進を図るため、次の施策を予定する。

- ①市民説明会及び老人クラブ説明会の実施
- ②広報すながわ・ホームページへの掲載
- ③パンフレットを作成し全世帯に配布
- ④登録者に対して、時刻表・利用方法を記載した登録証を配布
- ⑤登録者に無料お試し乗車券（1回分）の配布

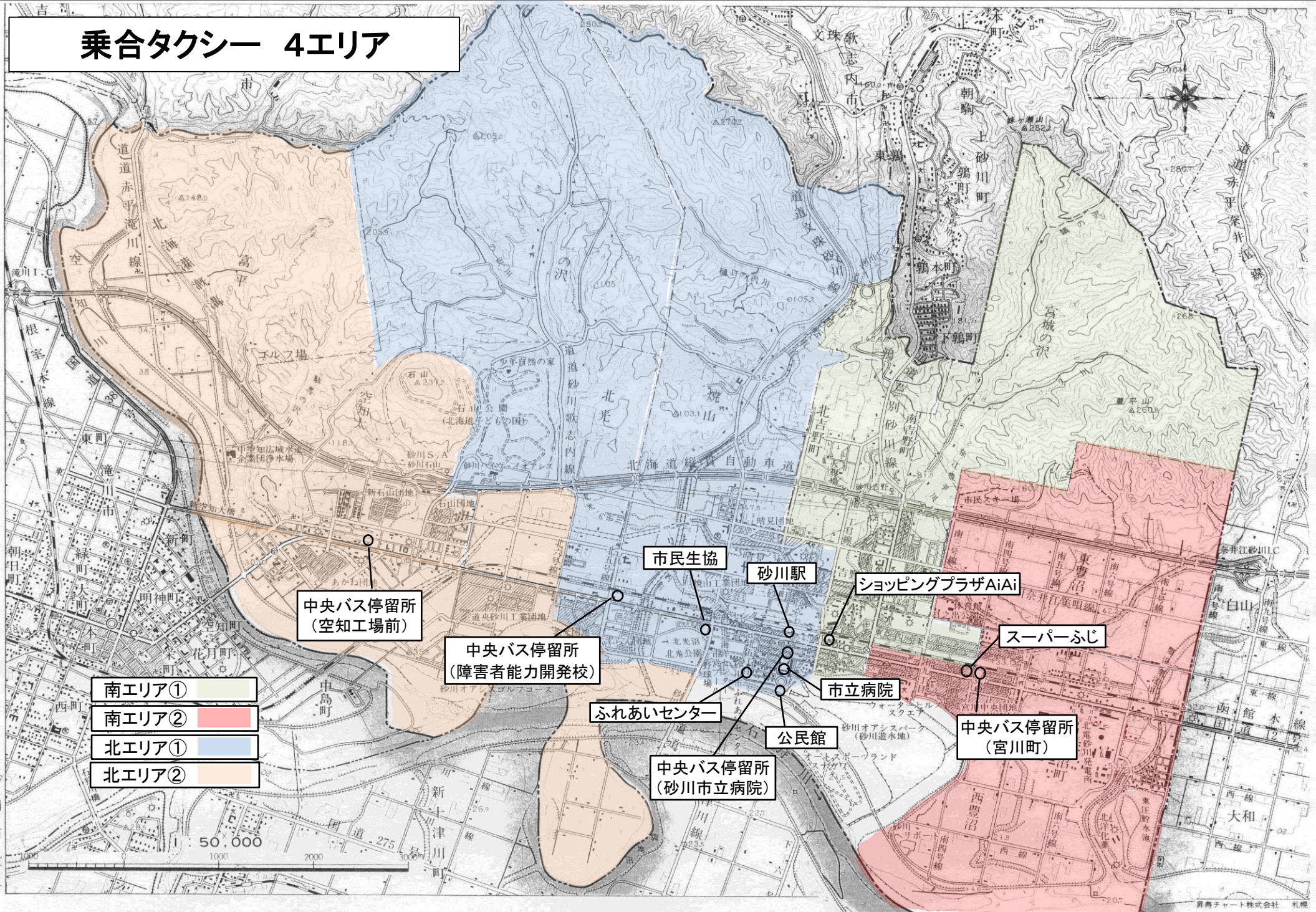
12. 概算事業収支

予約により運行するため計画運行回数に対する実運行回数を30%と見込み算定する。

項目	算定根拠	金額
年間運賃収入	4.32人/日×300円×123日×4エリア=638千円 無料お試し乗車券 ▲191千円	447千円
年間運行経費	南エリア① 1,150千円 南エリア② 1,465千円 北エリア① 1,622千円 北エリア② 1,814千円	6,051千円
収支		▲5,604千円

※利用者数及び運行経費は実証調査運行実績により算定

乗合タクシー 4エリア



- 南エリア①
- 南エリア②
- 北エリア①
- 北エリア②

中央バス停留所
(空知工場前)

中央バス停留所
(障害者能力開発校)

ふれあいセンター

中央バス停留所
(砂川市立病院)

市民生協

砂川駅

ショッピングプラザAiAi

市立病院

公民館

スーパーふじ

中央バス停留所
(宮川町)